

商売繁盛 エドレンジャー イントロダクション

花と緑と水に囲まれた江戸川区。小さなこどもから熟年者まで、大勢が楽しく暮らしている。

区内の商店街は、地域住民にとって欠かせないコミュニケーションの場所となっており、その活気がまちの「安全・安心」にも大きく貢 献し、地域にはなくてはならない存在となっている。そんな「地域の憩いの場」となってきた商店街も、時代の変化とともに、空き店舗 が現れ、次の商店街を担う後継者も不足してきたため、賑わいも失われつつある。商店街の店主たちも「これも時代の流れ…仕方の ないことかもしれない」と考えていた。…しかし、そうではなかった。

それは、江戸川区を支配し、おのれの欲望のためだけに江戸川区民を服従させようと企む「蒼の不景鬼将軍」率いる「シャッター軍 団」の仕業だった。なぜ、江戸川区の商店街が狙われてしまったのか?「蒼の不景鬼将軍」は江戸川区を支配するため、まずは「人と 人との絆」を排除しコミュニケーションを徹底的に排除するために「コミュニケーションの核」となっている商店街をまず手始めに衰退 させる計画を遂行していったのだ。このまま商店街の衰退を見過ごせば、江戸川区が悪の組織「シャッター軍団」に支配されてしまう。 すると、江戸川区の約10,000mもの地下深くから3つの光る玉が出現した。後に「江戸川の三光玉」と呼ばれることになるその光の 玉は江戸川区の商店街で育ち、商店街で働く3人の若者にその力を託したのだった。



エドレッド

赤橋 烈火(あかはし れっか)

中華料理屋の三代目。「炎を制する者は料 理を制する」を家訓とし日々料理の修業に 励んでいる。熱血漢で直情型。人にやさし く接することはちょっと苦手だが、心優しい 青年。3人の中では一番強く、正義感も強 いリーダー格。キレた時の口癖は「炒めら れて一のか!?」「…炒めるぞ」

エドグリーン

緑川 平次太(みどりかわ べじーた)

八百屋の二代目。威勢は良いが、明るい 温厚な性格。お客にお釣りを渡すときに は、「はい、120マン円のお返し!!」などと 言ってしまう。テンションが高くなると「はい、 120万両をお返し!!」と円が両になることも ある。屈託なく烈火に接するが、調子に乗 り過ぎてよく「炒めるぞ」と言われている。

エドピンク

桃木 桜子(ももき さくらこ)

植木屋の長女。三代目は兄が継いだ。元来 は大人しく清楚な感じで争いも好まないが、 正義感が人一倍強く特に桜を粗末に扱う モノには容赦しない。普段は一番冷静で 頭も切れる。新しいデザートには目がない。

江戸川の

赤風玉

金魚・風鈴などの 繁栄を司る玉。と ある中華料理屋の あまりにも豪快な 炎に引き寄せられ て烈火へ降臨

緑鮮玉

小松菜を始め、 数々の名産野菜 の繁栄を司る玉。 とある八百屋のあ まりの威勢の良さと 新鮮な野菜に惹か れ平次太へ降臨

桃源玉

千本桜の繁栄を 司る玉。とある桜 の植木屋のあまり に素晴らしい仕事 ぶりに惹かれ桜子 へ降臨



江戸川区・江戸川区民を羨ましく、妬ましく 思い異界から現れた「意識体」。「鬼」の形 になったのは、人々の意識の中の「鬼」に 影響されたため。肩には「閑古鳥」という鳥 をのせている。



シャッター軍団 戦闘員

蒼の不景気将軍に仕える戦闘員。威嚇する 言葉は「ガラガラ・シャッー!」。いざとなるとす ぐ退散し、逃げ足だけは、人一倍速い。



商店街応援!ご当地アイドルユニット EDOist(えどいすと)

江戸川区名産の小松菜のペーストを使用したご当地グルメ「江戸川よしむねグリーンカレー」を開発し広めようとしている「江戸川 幕府」の応援広報アイドルユニット。地域振興活動もしている江戸川幕府の応援アイドルとして商店街も応援したい!と思い商店 街応援ソングも歌っている。しかし、商店街を衰退させたい「シャッター軍団」がそれを見過ごすわけが無かった。